



2026年度

高校生のための書道講座

主催 安田女子大学 文学部 書道学科

欧陽詢・虞世南・褚遂良らが活躍した唐時代は、中国書道史における楷書の黄金期といえます。それに先行する北魏時代もまた、造像記や墓誌銘、摩崖、写経など、多様な楷書表現が開き、「楷書の発展期」として位置づけられるでしょう。本講座では、北魏時代の楷書を取り上げて、その歴史的背景に関する説明から、本学所蔵の墓誌銘の現物を使った拓本実習、そしてそれらを踏まえた作品制作までを行います。本講座を通して、受講する皆さんには、それぞれの書の学びをより広げ、より深めていってほしいと思います。

〔場 所〕 安田女子大学 7号館 3階 7306 書道教室
広島市安佐南区安東 6丁目 13-1 (アストラムライン「安東(ヤスガシ) 駅」下車)

〔開講日時〕 8月5日(水) 10:00~15:00

〔内 容〕

午 前	10:00~12:00 (休憩含む) 「北魏時代の歴史と書文化・拓本実習」(講師: 増田知之) 秦に始まる統一中国は、後漢滅亡によって終焉を迎えます。その後、三国時代から南北朝時代に至るまで、西晋による一時的な統一はあったものの、長い長い分裂の時代が続きます。南朝では王羲之の書風が広まりますが、一方、北魏に始まる北朝では、それとは異なる書風が流行することになります。その典型が北魏楷書なのです。このような歴史的背景を学ぶとともに、この時代に生み出された実際の墓誌銘を使って、拓本を取ってみましょう。
午 後	13:00~15:00 (休憩含む) 「臨書作品の制作—北魏楷書を題として—」(講師: 井田明宏) 本学所蔵「北魏宇文永妻韓氏墓誌銘」は、熙平三年(518)に書写された墓誌銘です。龍門石窟に刻された龍門二十品と同時期のものであり、後に成立する楷書様式の前段階ともいえる資料です。午後の講座では、「北魏宇文永妻韓氏墓誌銘」の書法について、龍門二十品をはじめとする北魏楷書や初唐の楷書と比較しながら検討し、その字形、線質を学び、臨書作品の制作に挑戦します。

〔参加費〕 無 料

〔受講対象〕 高等学校に在学中の生徒
(これから書道を始めたい人・書道が上手になりたい人・書道に関心のある人)

〔そ の 他〕 半紙・墨・筆等の用具は用意しますが、使いやすい筆などを持参しても構いません。
昼食はご持参いただくか、学内のセブンイレブンをご利用ください。

〔申 込 先〕 右記 QR コードより必要事項を入力し、申込みをしてください。

安田女子大学 文学部 書道学科事務室 (佐々木)

TEL・FAX: (082) 878-7725

E-mail: shodo.box@yasuda-u.ac.jp

※ご不明な点等ございましたら、上記までご連絡ください。



本講座は、教育ネットワーク中国の web サイトにあります「大学からのお知らせ」により緊急時のお知らせ(災害時の開講有無等)を確認することができます。

<https://www.enica.jp/>

書道展示室において、
第20回全国高校生<S-1>グランプリの
グランプリ作品を展示しています。
是非、お立ち寄りください。

